

妖怪・変化に関するもの

ししやり石の由来

《上江花》

上江花から八十内(天栄村)に行く道の傍に、くぐり石がある。くぐり石は、いつ頃彫ったのか、仏様が彫られてあつて怪しげな穴がある。

昔、病氣の人がこの穴をくぐつて、病気を治したという。またここには妖怪が住んでいるといわれ、この妖怪は狐とも狸とも何とも正体は分からない。

会津街道は長沼を通らず、八十内から十日市(大信村)を通れば近道なので、急ぐ時はここを通つたという。会津の殿様がここを通ると、妖怪が道一杯に広がって、道をふさぐので大変困ってしまった。それで会津より大砲を引いて来て、この妖怪を打つたところ、岩が二つに割れ、一方が東の方に飛び散つた。そしてその岩が、山の中腹にどつかと落ち付き

ししやり石

